

読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、こんにちは。10月は体育の日がありますね。体育といえば最近運動していない自分をつい振り返ってしまいます。さて、今月もご笑読頂ければ幸いです。

【今月の発見】

朝三暮四式、好感度アップ術！

「一生懸命スタッフのことを思いやっているのになかなか分かってくれない」。非常によく聞くお悩みです。しかし、もしかすると伝え方に何か原因があるのかもしれないですね。そこで、今回はこれまでと全く同じことをやっても、以前より喜ばれる方法を発見しましたので、ご紹介したいと思います。

この方法のポイントを一言で言うと、

「“朝三暮四”のように順序と言い回しを変えるだけ」

です。

まずは「朝三暮四」とは何か、ご存じない方も多いですので、下記をお読み頂けますか。

宋の国の狙公という人は猿を可愛がって群れをなすほど養っていた。自分の家族の食べ物を減らしてまで、猿の食欲を充たしていた。ところが急に貧しくなったので、猿に与える餌の茅（どんぐり）を減らすことにした。猿たちが自分になつかなくなってしまおうのではないかと心配したので、まず猿たちを誑かして言った。「お前たちにどんぐりをやるのに、朝は三つで暮は四つにする。足りるか」とすると猿たちは皆立ち上がって怒りだした。そこで狙公は急に言い変えて、「それじゃ、朝は四つで暮は三つにしよう。足りるか」と言うと、猿たちは皆平伏して喜んだ。

これは内容はまったく同じなのに言い方を変えただけで納得してしまったという、お猿のお話ですが、実は人間社会でも十分通用するのです。

たとえば「残業手当は割り増しするけれどボーナスは出せないなあ」というと、あまり良い印象を受けません。しかし「ボーナスは出せないんだ、だけど残業手当を割り増しするからどうか分かって欲しい」というように順序と言い回しを少し変えると何となく良い印象に聞こえるはず。是非、いろいろなケースで応用してみてくださいね。